

# 東京農業大学総合研究所研究会きのこ研究部会 公開講演・トークショーのご案内

## 【企画経緯】

きのこ研究部会では、きのこの総合的な技術と応用開発に関するテーマを題材として講演会などを企画してきています。この度きのこ研究部会では、日本の主要農産物である米と麦の生産圃場にきのこの廃菌床を施肥すると、それらの作物の多収量化および米や麦としての可食部位のアミノ酸含有量等が増多することなどを明らかにする研究テーマに焦点を絞りパネル講演会を計画しました。

また、農林水産省よりお米大使としての称号を受けて活躍中の小林幸子氏が研究内容に関心をお持ちくださり、お米大使としての“お米”と、第一線のきのこ研究者として活躍するきのこ研究部会長の江口文陽教授の“きのこ”との融合により、日本の農林業の活性化をテーマとして公開トークショーが実現しました。

消費者や生産者に情報を発信するとともに、小林幸子氏および江口文陽教授の活動ステージは異なるものの、日本全国の地域を訪問する機会が多く、日本全国の第一次産業の活性化による産業振興や食育・食文化の振興に繋げられればと考え、会員のみならず参加希望をされる皆様にご案内いたします。

## 【内容】

主 催 東京農業大学総合研究所研究会きのこ研究部会

開催日時 2013年 11月 7日(木) 15時00分～16時30分

開催場所 東京農業大学「食と農」の博物館

〒158-0098 東京都世田谷区上用賀 2-4-28

①挨拶 挨拶：東京農業大学総合研究所所長 渡邊文雄 教授

②研究報告：「きのこの廃菌床を用いた高付加価値農産物の生産」

東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 江口文陽 教授

③トークショー：歌手・お米大使 小林幸子 氏

きのこ研究者 江口文陽 教授（進行役も行います）

（対談形式でお米やきのこの現状や今後、両氏が日本の農林業・食について熱く語り合います）

④挨拶 挨拶：きのこ研究部会幹事 吉本博明 氏

※参加費無料、申込み不要（席に限りがあります）



<お問合せ>

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1

東京農業大学総合研究所研究会事務局 kenkyuka@nodai.ac.jp

TEL03-5477-2565・FAX03-5477-2634





## 小林幸子さんの「お米大使」就任について

歌手の小林幸子さんが「お米大使」に就任されています。

### 【概要】

農林水産省は、官民一体となって食料自給率向上に向けた国民運動「フード・アクション・ニッポン」を推進しています。また、食料・農業・農村に対する国民の理解を促進しつつ農林漁業の再生を目指す取組が進展しています。

その中で、米は我が国の農業・農村や国民の食生活において極めて大きなウエイトを占め、水田農業は我が国の歴史・文化とも密接な関係を有しており、今後、国民全体で農村を支える社会を実現するため、米について国民の関心を一層喚起していく必要があります。

このため、都市と農村の双方において、老若男女問わず幅広い世代に対し、米に係る情報発信をお願いするため、自らの手で米を栽培するなど米について造詣が深い歌手の小林幸子さんを「お米大使」として任命することとしました。

### 【参考】

フード・アクション・ニッポンのホームページ（<http://syokuryo.jp/index.html>）

### 【お米大使の活動内容】

1. 小林幸子さん自身のホームページやコンサート等での情報発信
2. 各種メディアやイベントを通じた情報発信
3. 農林水産省が開催するシンポジウムへの出演等